

## 第5回 本明川ダム建設事業 環境保全検討委員会 議事要旨

日時：令和4年3月14日（月） 10：00～12：00

場所：長崎河川国道事務所

### 事務局からの説明

- ・現時点の事業進捗について報告した。
- ・本事業に係る環境保全の取り組み状況について報告した。
- ・令和3年度の事後調査報告書の内容について報告した。
- ・令和4年度の事後調査計画書の内容について報告した。

### 主な議事

#### ○環境保全の取り組み状況について

##### 【水質】

- ・SSや富栄養化項目の変化は、流域の環境や土地利用の変化に影響されるものであり、それらは生物の生育・生息環境にも影響することを理解して、環境保全の取り組みを進めること。

##### 【植物】

- ・キンラン属はコナラ等のブナ科樹木と共生関係にある菌根菌の存在が重要であることから、移植の際は周辺の土壌も併せて移植するとともに、事後調査を継続し、必要に応じて追加の環境保全措置を講じること。

##### 【動物】

- ・工事箇所からカジカ中卵型の移植を行う際は、工事後の残存個体の生息状況も把握し、可能な限り影響の低減に努めること。

##### 【生態系】

- ・工事の進捗に伴い、サシバの営巣地が変化する可能性があることから、特に繁殖初期の渡来状況や営巣可能性の確認に留意すること。また、サシバの繁殖成否にも影響する周辺環境の変化について、可能な限り情報を収集すること。
- ・ビオトープには地域に元来生育・生息する種のみを導入し、他の地域の種が侵入しないように管理を行うこと。
- ・ビオトープの環境を維持するためには、定期的な維持管理が必要である。持続的に維持管理を実施していくための仕組みについて検討すること。

##### 【歴史的・文化的環境】

- ・歴史のある用水の付け替えや神社の移設に関して、地域の歴史とその保全の取り組みを普及啓発していくことも検討すること。